



みらいこども園

9月号

2025 年 9 月 1 日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦 芳子



【2学期に向けて】

暦の上では立秋を迎え、いよいよ2学期が始まりました。9月に入っても、残暑や台風等の影響で体調を崩しやすいですので、十分気を付けてお過ごしください。

さて、7月、8月は、猛暑続きで、熱中症アラートが発令されたり、局地的な大雨が降ったり、地震から津波警報が発令されたことなど、異常気象の影響で多くの方が、困難に見舞われました。また、園内の保護者の方々からは、高熱や感染症などにかかったと報告も受けています。こども園でも、健康状況を見ながら、園児の安全を第一に考えて保育を続けてまいりました。そんな中、園に通う子ども達は、水遊びや園庭や保育室で好きな遊びを満足するまで楽しんでいました。子ども達にとって、遊びは生活そのものなのだなあと感じるほど、個人の生活体験が取り入れられ、たくさんの物事を学習していることが分かりました。また、今年の夏期間は、中原区の他の保育園の保育士さんや隣の新城小学校の先生方が、地域のお子さんの様子を体験する研修に来られました。特に、小学校の先生方は、細かく観察されていて、子どもの様子や態度、子ども一人一人の主張、表現など、幼児期の子どもたちが、こんなにも、意欲的に物事に向かっている姿にびっくりされていて、小学校の在り方や指導法について、改めて、勉強になったとおっしゃっていました。今後の小学校との連携に期待を持ちつつ、みらいこども園の良さをさらにアピールしていきたいと思います。

皆様にとって、夏の思い出作りはできましたか？子ども達からは、「おじいちゃんおばあちゃんに逢いに行ったよ」「旅行に行ったよ」「大阪万博に行ったよ」「新幹線に乗った！」「飛行機に乗ってハワイに行ったよ」「沖縄の海はスカイブルーだった」「キャンプに行ってカブトムシ見つけた」等々、次から次に夏休みに体験した話が飛び出し、子ども達の熱量から、こちらまで、楽しくなりました。きっと、それぞれが夏の季節を通して、普段体験できない経験を得たことで、子ども達の生活に豊さを与えているのだと感じました。一回り大きくなったと感じるのは、その現れなのかもしれませんね。私たち職員もこの夏は、たくさんの研修に参加し、研鑽を積んできました。学んだことを生かして、一番成長を感じる2学期をより子ども達の豊かな学びに繋げられるよう努力していきたいと思います。どうぞ、今学期もご理解とご協力を願います。



園庭でタンゴ筆遊び



ヌルヌル
だあ

さわりた〜い！



片栗粉を使って感触遊び



ほし組 紙風鈴で涼を・・・

